

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3	地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策名称	2	地域の活性化		
	施策の方向性	●地域住民の交流、活動、コミュニティの場を提供するとともに、住民と行政との連携・協働によるまちづくりを推進します。 ●町内企業の支援を行うとともに、その魅力を積極的に発信していきます。 ●観光資源の有効活用を推進します。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	町内会加入率	%	目標値		73.3	73.3	73.3	73.3	73.3
			実績値	73.3	71.0	70.2	68.3		
			達成状況		未達成	未達成	未達成		
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	
（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3:	
R4:	町内会加入促進のため、様々な取組みを事務事業評価における活動実績のとおり行いましたが、目標は達成できませんでした。広報紙の配布やごみ収集など、町内会に加入しなくても行政サービスを受けることができることから、町内会加入にメリットを感じないことが要因と考えられます。
R5:	
・評価及び対応方針	
R3:	他市町の事例を参考にしながら、効果的な加入促進を行っていく必要があります。
R4:	実施した取組みを振り返るとともに、他市町の事例を参考にしながら、効果的な加入促進の取組みを行っていく必要があります。
R5:	他市町の事例も参考にしながら、効果的な加入促進の取組みを行っていく必要があります。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）

（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	計
1	地域コミュニティ活動支援事業	33,374	34,047	35,657	103,078
2	事業者支援事業	675	2,079	1,542	4,296
3	観光事業	3,874	4,242	3,132	11,248
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合計		37,923	40,368	40,331	118,622

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート

1. 基本情報

総合戦略

事務事業の名称	地域コミュニティ活動支援事業	事業番号	332101
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3:地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（51町内会）の発信を行いました。 ○ 安芸府中高校放送部の協力のもと、町内会加入の呼びかけメッセージを府中町のパトロールカーで放送しました。 ○ 町内会の課題に基づき、実態に即したセミナーを開催しました。（2日間で4回） ○ 町内会連合会へ補助金を通じた活動支援を行いました。 ○ 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。（新築1件）
R4	○ 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（59町内会）の発信を行いました。また、町内会加入促進チラシへQRコードを載せるなど、「こむねっとひろしま」の周知を図りました。 ○ 3月下旬の3日間町内会長と連携して、役場ロビーにおいて、転入者に向けて、町内会の説明、チラシの配布、町内会加入の呼びかけメッセージ放送などの町内会加入促進キャンペーンを実施しました。また、公用車へのマグネット掲示、幟の設置、パトロール車での啓発放送、広報ふちゅうの裏一面掲載などの広報活動を行いました。 ○ 町内会の課題に基づき、実態に即したセミナーを開催しました。（2日間） ○ 町内会連合会へ補助金を通じた活動支援を行いました。 ○ 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対して、補助金を交付しました。（修繕2件）
R5	○ 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（61町内会）の発信を行いました。また、町内会加入促進のチラシやホームページにおいて、「こむねっとひろしま」のQRコードやリンクを貼り付け、周知を図りました。3月下旬の5日間、町内会長と連携して、役場ロビーにおいて、転入者に向けて、町内会の説明、チラシの配布、町内会加入の呼びかけメッセージ放送などの町内会加入促進キャンペーンを実施しました。また、町内会加入促進のチラシの見直し、公用車へのマグネット掲示、幟の設置、府中つばき祭りでの啓発物の配布、ホームページや広報ふちゅうでの掲載などの広報活動を行いました。 ○ 町内会の課題に基づき、実態に即したセミナーを開催しました。（2回開催） ○ 町内会連合会へ補助金を通じた活動支援を行いました。地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対して、補助金を交付しました。（新築1件）

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	町内会情報の発信回数	回	目標値	37	40	43	46	49
			実績値	51	59	61		
			達成状況	達成	達成	達成		
指標の設定方法		地域活動の推進を目的としているため、町内会情報の発信回数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	33,374	0	0	0	6,562	26,812
R4	34,047	0	0	0	2,896	31,151
R5	35,657	0	0	0	4,100	31,557
合計	103,078	0	0	0	13,558	89,520

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして町内会情報を発信し、目標を達成することができました。

R4:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして町内会情報を発信し、目標を達成することができました。

R5:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして町内会情報を発信し、目標を達成することができました。

・評価及び対応方針

R3:引き続き、町内会と連携を密にし、情報発信の強化を行います。

R4:引き続き、町内会と連携を密にし、情報発信の強化を行います。

R5:引き続き、町内会と連携を密にし、情報発信の強化を行います。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして、目標を達成することができました。情報発信の強化は図れていますが、加入率向上に結び付いていません。

R4:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして、目標を達成することができました。情報発信の強化は図れていますが、加入率向上に結び付いていません。

R5:個別に町内会へ情報提供を依頼するなどして、目標を達成することができました。情報発信の強化は図れていますが、加入率向上に結び付いていません。

・評価及び対応方針

R3:町内会の情報の幅を広げ、加入促進に結び付く情報発信を行う必要があります。

R4:町内会の情報の幅を広げ、加入促進に結び付く情報発信を行う必要があります。

R5:町内会の情報の幅を広げ、加入促進に結び付く情報発信を行う必要があります。

後期実施計画（令和3年度～令和5年度） 事務事業評価シート			
1. 基本情報			総合戦略
事務事業の名称	事業者支援事業	事業番号	332102
担当部署名	町民生活部 自治振興課		
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3:地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 新設した「販路開拓支援補助金」について、申請が4件あり、1件について支給を行いました。（申請4件の内2件は国の小規模事業者持続化補助金採択者のため交付対象外） ○ 地域活力創出型オフィス誘致促進助成金について、申請が1件あり、支給を行いました。
R4	○ 地域活力創出型オフィス誘致促進助成金について、新たな申請はありませんでしたが、令和2年度及び令和3年度からの継続事業者へ2件支給を行いました。 ○ 販路開拓支援補助金について、申請が6件あり、5件について支給を行いました。（申請6件の内1件は国の小規模事業者持続化補助金採択者のため交付対象外）
R5	○ 地域活力創出型オフィス誘致促進助成金について、新たな申請はありませんでしたが、令和3年度からの継続事業者へ1件支給を行いました。 ○ 販路開拓支援補助金について、申請が8件あり、6件について支給を行いました。

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	補助金利用件数	件	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	7	7		
			達成状況	未達成	達成	達成		
指標の設定方法		地域活性化へ向けた事業者の支援が目的のため、補助金利用件数を指標としました。						

4. コスト情報(決算)

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	675	0	0	0	0	675
R4	2,079	0	0	0	0	2,079
R5	1,542	0	0	0	0	1,542
合計	4,296	0	0	0	0	4,296

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） R3:販路開拓支援金、オフィス誘致助成金ともに申請、問い合わせが少ない状況です。 新型コロナウイルス感染症に起因する事業者支援対応のため、制度周知が十分にできておらず、目標は未達成となっています。 R4:オフィス誘致助成金は、今年度も申請はありませんでしたが、継続事業者への支援は行うことができました。また、販路開拓支援金は、アフターコロナに向けた取組みが活発となり、また商工会からの制度周知も行えたこともあり、目標を達成しました。 R5:オフィス誘致助成金は、今年度も申請はありませんでしたが、継続事業者への支援は行うことができました。販路開拓支援補助金は、商工会と連携し、SNSを活用した発信をすることで制度周知も行えたこともあり、目標を達成しました。
・評価及び対応方針	R3:アフターコロナに向けた取組みが活発となっているため、申請者の増加が見込まれます。より活用してもらえるよう、商工会などと連携し、周知手段や制度の見直しを検討します。 R4:販路開拓支援金は、アフターコロナに向けた取組みが活発となったこともあり、申請者数及び支給数も増加し、全体として目標は達成できました。より効果的な事業者支援とするため、引き続き両制度の見直しの検討を継続します。 R5:全体として目標は達成できましたが、より効果的な事業者支援とするため、引き続き両制度の見直しの検討を継続します。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） R3:新型コロナウイルス感染症対応のため、制度の周知が十分に出来ず目標未達成となりました。 R4:アフターコロナに向けた取組みが活発となり、また商工会からの制度周知も行うことができたこともあり、申請件数も増加し全体としては、目標を達成しました。 R5:制度の周知方法を工夫し、申請件数も増加し全体としては、目標を達成しましたが、オフィス誘致助成金については、2か年申請がないため、制度の見直しが必要です。
・評価及び対応方針	R3:利用件数が伸び悩んでいるため、事業者のニーズを把握し継続的に制度見直しの検討を行います。 R4:事業者のニーズを把握し継続的に制度見直しの検討を行います。 R5:今後も事業者のニーズを把握し継続的に制度見直しの検討を行います。

1. 基本情報

総合戦略

○

事務事業の名称	観光事業	事業番号	332103
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3:地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 活動実績

年度	活動実績
R3	○ 広島市シェアサイクル事業「びーすくる」について、6月から新たに導入し、1台あたり240人の利用がありました。 ○ 補助団体である観光協会が、写真コンテストや府中町PR動画、観光パンフレット作成等を実施しました。 ○ 観光マップについて、平成29年度に作成して5年が経過しており、各施設での持ち帰りも多く、内容更新の要望も寄せられていたことから、最新情報を掲載した改訂版を作成しました。
R4	○ 広島市シェアサイクル事業「びーすくる」について、1台あたり471人の利用がありました。 ○ 町内散策用として「びーすくる」利用を前提とした、名所や商店等の情報を記載した「おでかけ案内冊子」を作成しました。 ○ 補助団体である観光協会が、写真コンテストやデジタル観光アプリによる「ふちゅうさんぽ」、観光パンフレット作成等を実施しました。
R5	○ 広島市シェアサイクル事業「びーすくる」について、1台あたり601人の利用がありました。 ○ 町内散策用として、観光マップを更新しました。 ○ 補助団体である観光協会が、みくまりフェスタや写真コンテスト等を実施しました。

3. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	びーすくる利用者数（1台当たり）	人	目標値	180	230	280	330	380
			実績値	240	471	601		
			達成状況	達成	達成	達成		
指標の設定方法		観光に係る交通手段の多面化を図るため、びーすくる利用者数を指標としました。						

4. コスト情報（決算）

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	3, 874	1, 213	0	0	600	2, 061
R4	4, 242	1, 078	0	0	2, 600	564
R5	3, 132	849	0	0	652	1, 631
合計	11, 248	3, 140	0	0	3, 852	4, 256

5. 評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:「びーすくる」は6月からの導入でしたが、広報紙やホームページで利用の周知を図ったことにより、目標を達成しました。「びーすくる」利用を前提とした観光客向け周遊ルートを反映した観光マップがないため、作成する必要があります。

R4:利便性向上のための屋根を設置し、広報紙やホームページで町内散策時の利用促進を図ったこともあり、目標を大幅に上回りました。町内散策用として作成した「おでかけ案内冊子」は、「びーすくる」利用を前提として作成しました。

R5:更新した観光マップやホームページ等を活用し、町内散策時の利用促進を図ったことにより、今年度も目標を大幅に上回り、達成することができました。

・評価及び対応方針

R3:今後、利便性向上のための屋根を設置し、町内散策時の利用促進をホームページ等で行います。

R4:今後も町内散策時の利用促進をホームページ等で行い、利用者増の取組みを継続します。

R5:目標は達成できています。今後も町内散策時の利用促進を工夫しながら利用者増の取組みを継続します。

6. 評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3:「びーすくる」は年度途中である6月からの導入でしたが、広報紙やホームページで利用の周知等を図り、目標は達成しました。

R4:利便性向上のための環境整備を行い、広報紙やホームページで利用の周知等を図ることで、目標を達成しました。

R5:観光マップやホームページ等で利用の周知を図ることで、目標を大幅に達成することができました。

・評価及び対応方針

R3:今後も利用状況等注視しながら町内散策周遊及び利便性向上を図っていきます。

R4:今後も利用状況等を注視しながら、町内散策周遊及び利便性向上を図ります。

R5:目標は達成できています。今後も利用状況等を注視しながら、市町域を超えた利用を可能とすることで、町内散策周遊及び利便性向上を図ります。